

2022年度保育園の自己評価

オレンジ第2保育

1、保育理念・保育観		評価	評価の根拠・改善方法
1	保育士一人一人が、オレンジ第2保育園の保育理念・保育方針を理解している。	A	年始の始めに読み合わせ確認をしている。
2	オレンジ第2保育園の保育方針を理解して保育計画が立てられている。	A	毎年方針や計画の見返し振り返りをしている。
3	常に保育方針や保育観を確認できるような機会を作っている。	A	毎月の月案の計画を立てる時確認している。
4	一人一人の主体性を大切に保育をしている。	A	保育指針の改定に伴い方針を切り替え定着している。
5	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。	A	小人数クラスごとの行事を取り入れたりして共感している。
2、保育計画・指導計画			
1	保育方針の、ねらい及び内容が達成できるような全体的な計画や保育計画を立てている	A	年計から各月ごとのテーマを決めねらいに添えている。
2	保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して年間計画、月案、週案を立てている	A	個別計画の中で特に支援を要する児を共有した。
3	3歳未満児は、現在の姿を理解し、見通しをもって一人一人に応じた保育計画を立てている。	A	それぞれの発達に応じた対応している。
4	配慮の必要な子には、その子に応じた保育計画を立てている。	B	特に配慮の必要な子への保育士の配置ができない。
1	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている。	A	年間の食育計画に基づき充実している。
2	調理士、保育士等が連携し、会議等で意見を交わし合いながらより良い給食になるよう努めている。	A	月一回の給食会で意見交換している。
3	出来るだけ地元の食材や旬の食材を取り入れ、様々な食材を味わえるようにしている。	A	栄養士の献立配慮が充実している。
4	給食やおやつは手作りをしている。	A	毎日手作りのおやつをつくっている。
4、職員構成・役割分担・研修			
1	職員の仕事や役割が明確であり、連携を取って円滑な園経営が出来ている。	A	クラスリーダー、フロアーリーダー主任と連携している。
2	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が出来ている。	A	役割分担や避難訓練をしっかりと行っている。
3	職員が割り当てられた業務分担を把握し、園の保育や内容を深めるために、それぞれが活発に活動している	A	一人一人が業務を把握しお互い補い合っている。
4	園内研修と園外研修の計画を立てて実行している。	B	コロナ禍で園外研修が実行できなかった。
5	施設整備や遊具等の安全点検を行っている。	B	施設整備に於いて防犯を徹底する必要がある。
5、保護者支援			
1	保護者と良好な関係をつくろうとしている。	A	玄関先でしっかり声掛け合っている。
2	園の保育内容や子どもの姿が分かるような発信をしている。	A	園便り、ブログを利用し発信している。
3	保護者の状況を理解し、個人情報への漏洩に気をつけている。	A	おめでたや病気について理解し守秘義務を守っている。
4	子育てのパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。	B	各家庭の状況など保護者から聞き取ることは難しい。

6、子育て支援			
1	地域に開かれた、日々子育てをしている親子を受け入れている。	C	コロナ禍での受け入れは休止している。
2	地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている。	D	今後は地域に発信し受け入れて行きたい。
3	子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている。	B	保護者面談などに対応している。
4	園生活の子どもの様子を地域にも発信している。	B	ホームページを開設している。
1	定期的に小学校と交流を行っている。	D	3歳までの乳児が中心となり行っていない。
2	定期的に小学校やこども園との会議や職員交流を行っている。	C	こども園に情報の提供は行っている。
3	高齢者施設との交流を深め、高齢者の方を敬う気持ちを育てている。	D	コロナ禍では実施できない今後行いたい。

A:よくできた B:できた C:一部改善が必要 D:改善しなければならない

園全体の評価

施設が補助金に頼らず自助努力によって建てた施設で職員の休憩場がなかったり、作品、備品の納庫が少なく施設環境の行き場がない中で職員のアイデア工夫で職員間の協力が大きい。又、休みが取りやすい職員配置をする事で安定した保育業務ができた保育の内容については3年計画で今までの一斉保育だったあたり前の保育を見直し、子ども一人一人の生活リズム

主体性を重視し一斉給食・一斉活動を改め、子どもの意志を尊重し子どもと相談したり、思いを引き出す保育の関わりをした事で子どもや職員にゆとりが出てきた。又、月々の活動テーマを設け色々な分野に遊びを広げるドキュメンテーションによる職員間の保育の運び方を常に話し合いされ共有した内容で職員間のコミュニケーションも充実する事ができた。